

第1期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略 期間中の人口推移および指標結果について 【H27～R1】

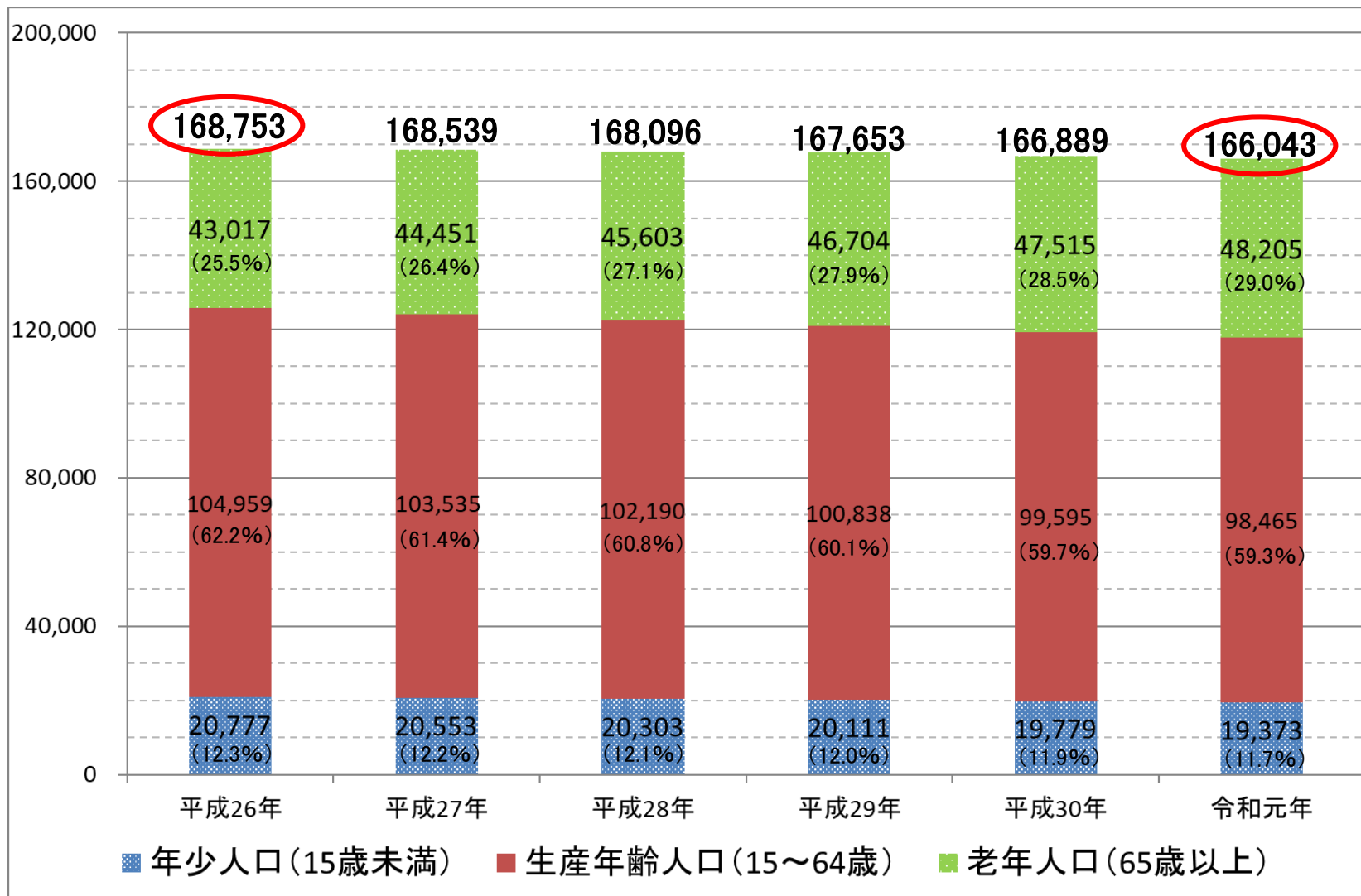
資料1
資料2

平成26年12月末～令和元年12月末の帯広市人口動向
第1期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略 指標一覧表

帯広市の人口動向

総人口

H26~R1の間で**2,710人減少 (▲1.6%)**



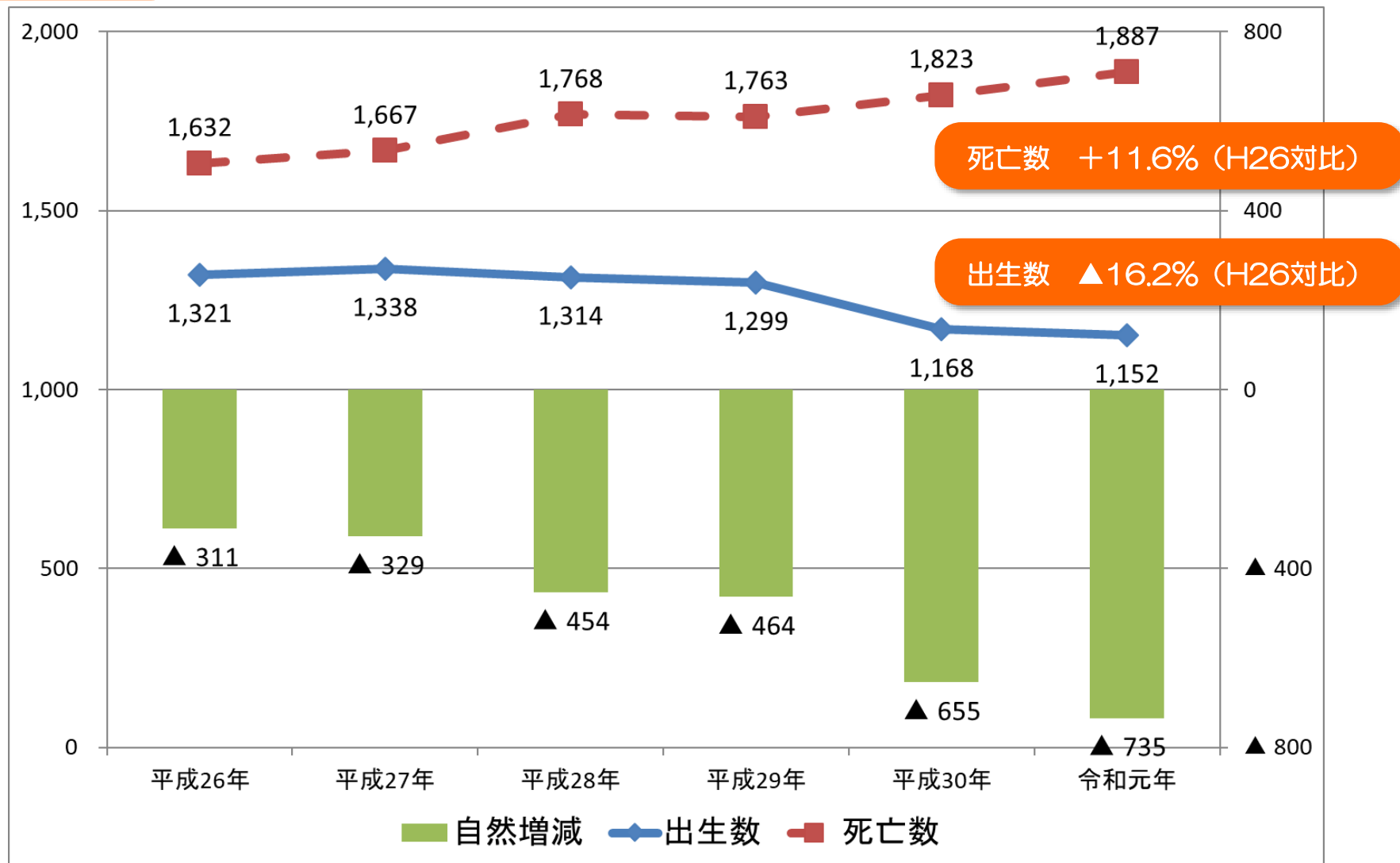
注) 各年12月末日現在

出典) 住民基本台帳

帯広市の人口動向

自然増減

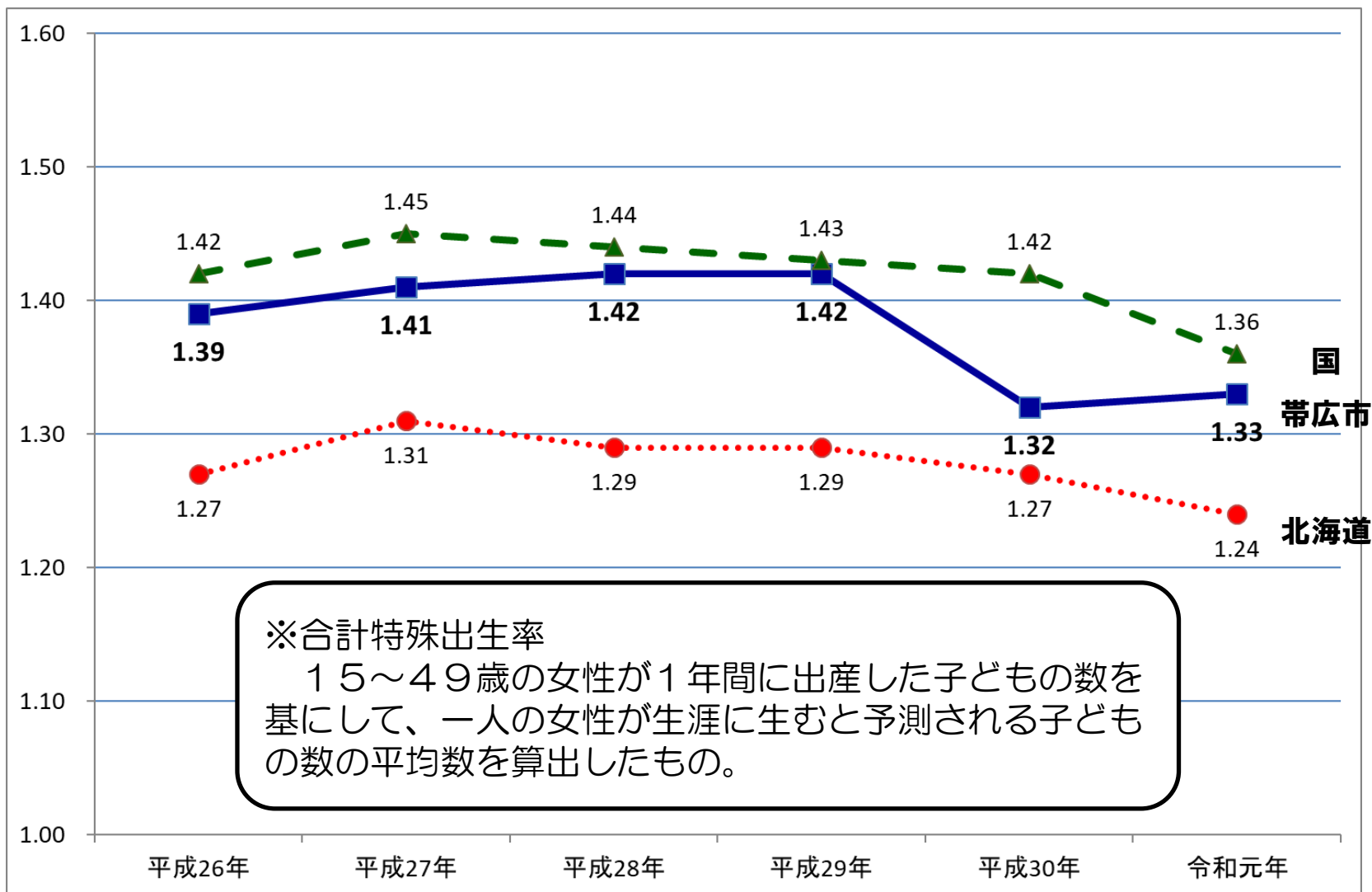
減少幅が**拡大**



帯広市の人口動向

合計特殊出生率

低迷が続いている状況

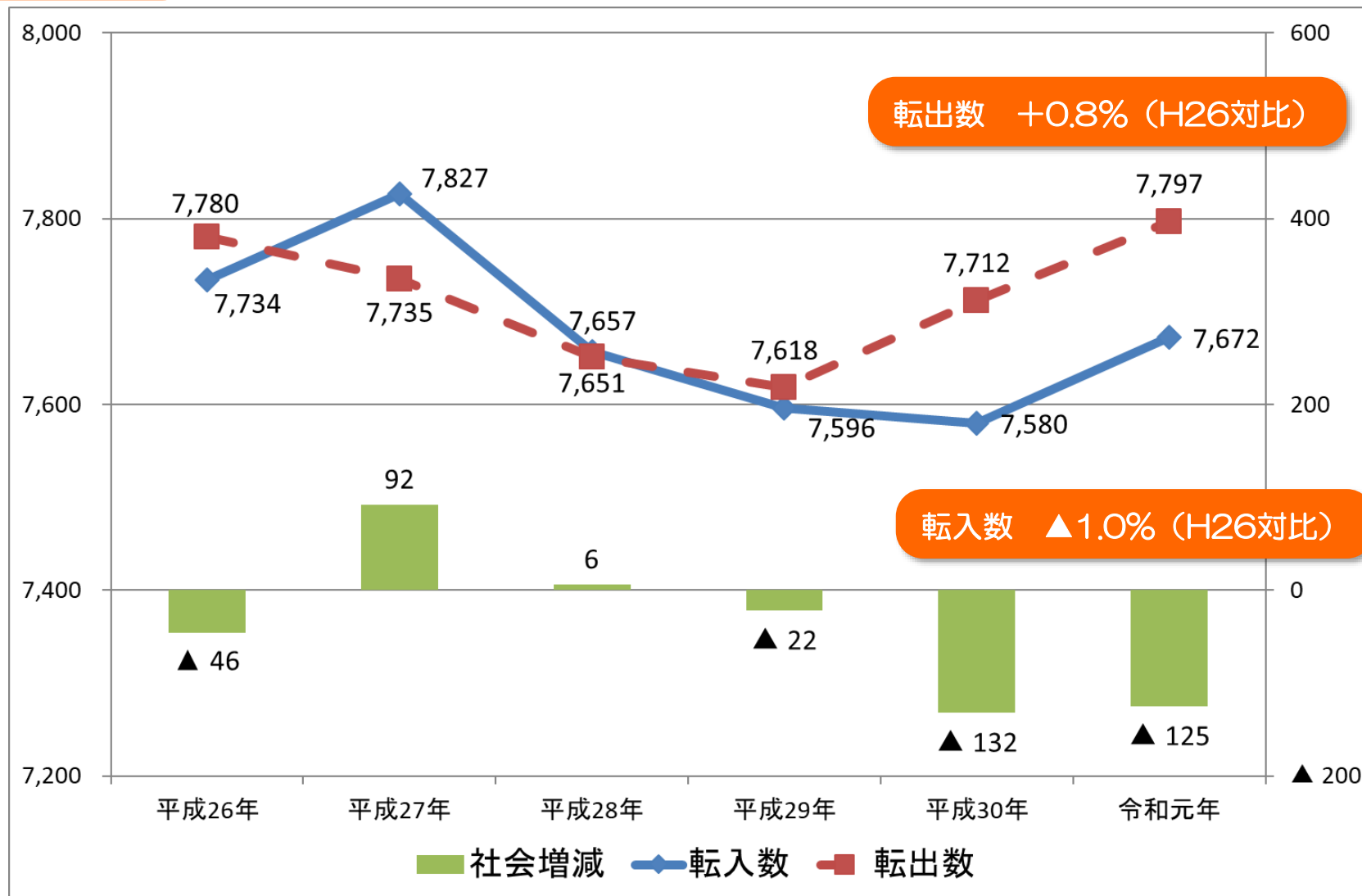


出典：国・北海道は厚生労働省ホームページ人口動態統計、帯広市は人口動態統計および住民基本台帳をもとに独自推計

帯広市の人口動向

社会増減

近年、**転出超過が拡大傾向**



出典) 住民基本台帳

帯広市の人口動向

人口移動図

(単位：人)

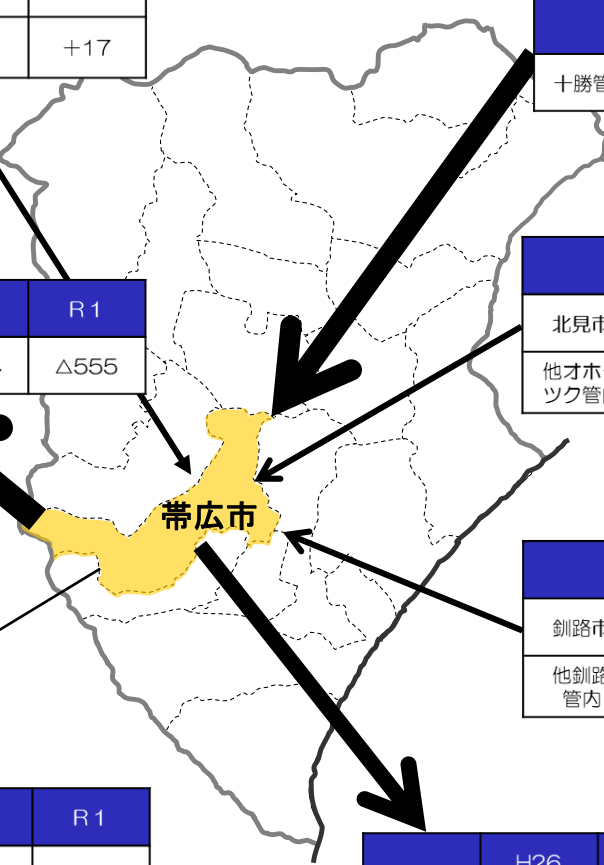
札幌市への転出超過が拡大傾向
近隣都市は転入超過で推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
旭川市	△72	+10	+16	+47	+19	+29
他上川管内	△2	+50	+24	+7	+24	+17

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
十勝管内	+359	+515	+220	+319	+359	+504

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
札幌市	△307	△485	△441	△450	△574	△555

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
北見市	+21	+53	+3	+43	+38	+9
他オホーツク管内	+11	+30	+52	+72	+73	+36



	H26	H27	H28	H29	H30	R1
釧路市	+62	+64	+148	+45	+93	+129
他釧路管内	+37	+19	+58	+13	+23	+40

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
日高管内	+26	+18	+19	+9	+27	△9

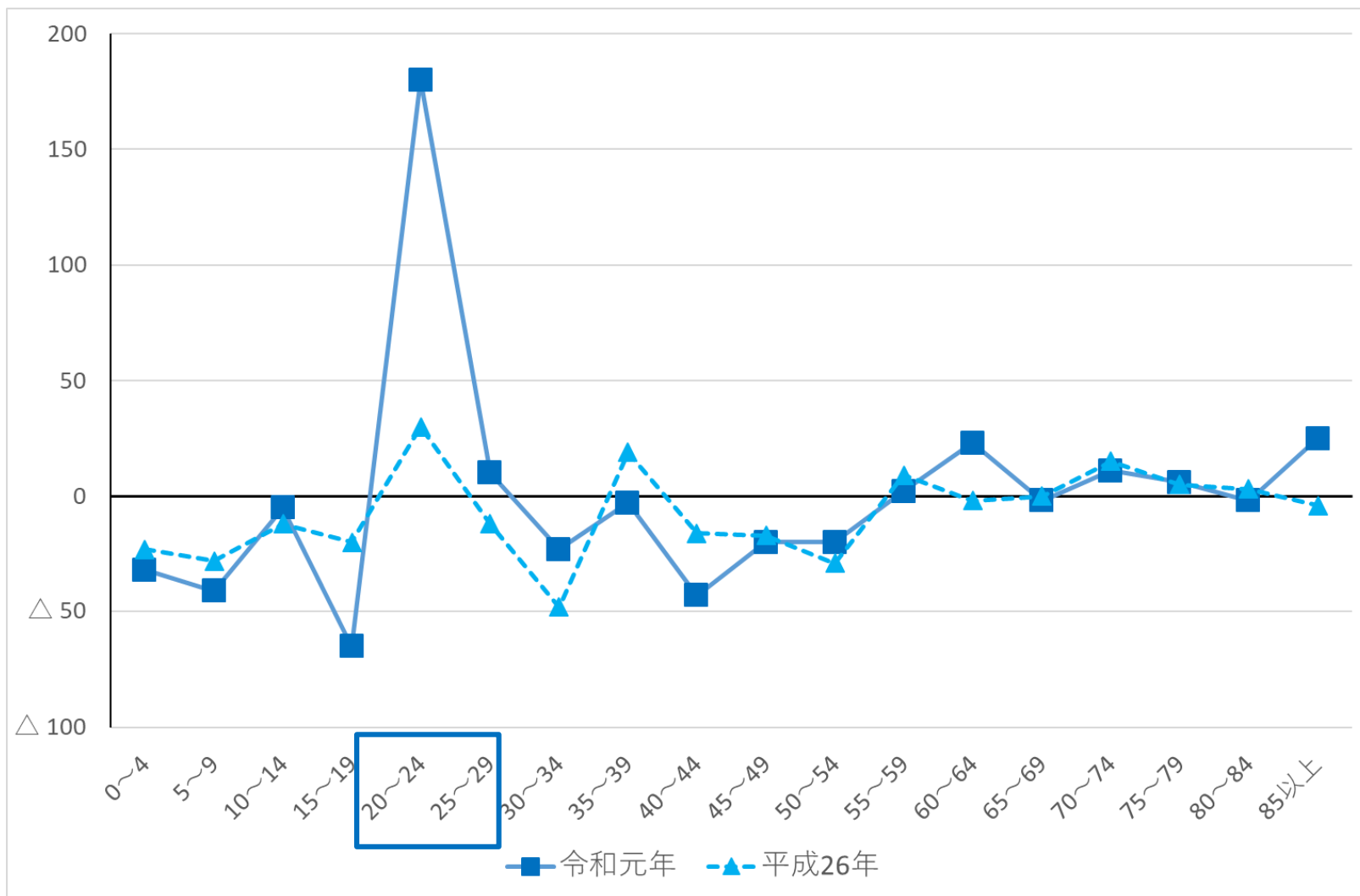
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
東京圏	△252	△211	△149	△181	△269	△197

出典：北海道総合政策部情報統計局統計課

帯広市の人口動向

(男性) 年齢別人口移動・経年比較

若年層で転入超過が拡大

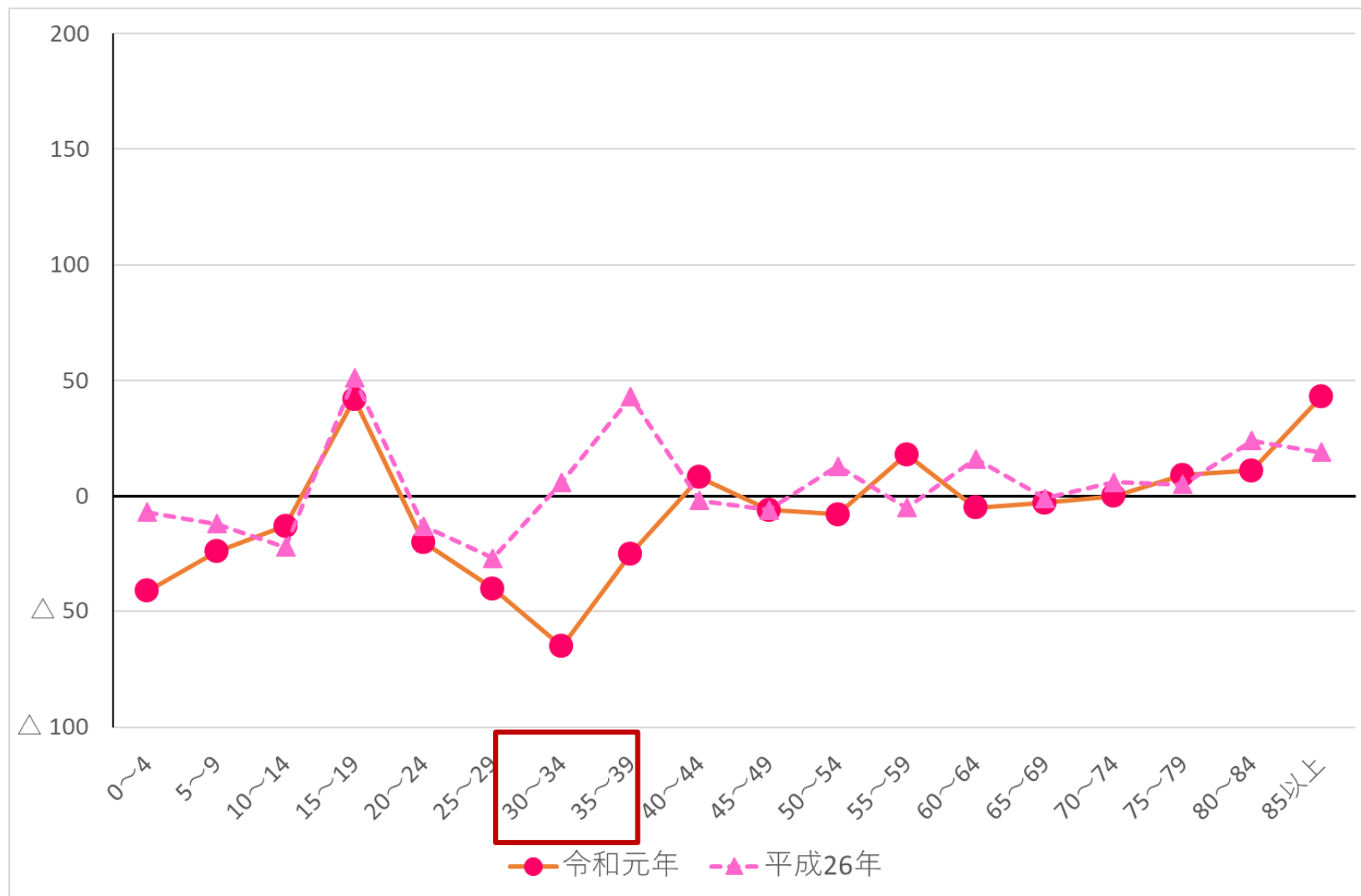


出典) 住民登録データから帯広市集計

帯広市の人口動向

(女性) 年齢別人口移動・経年比較

30代女性で転出超過が拡大

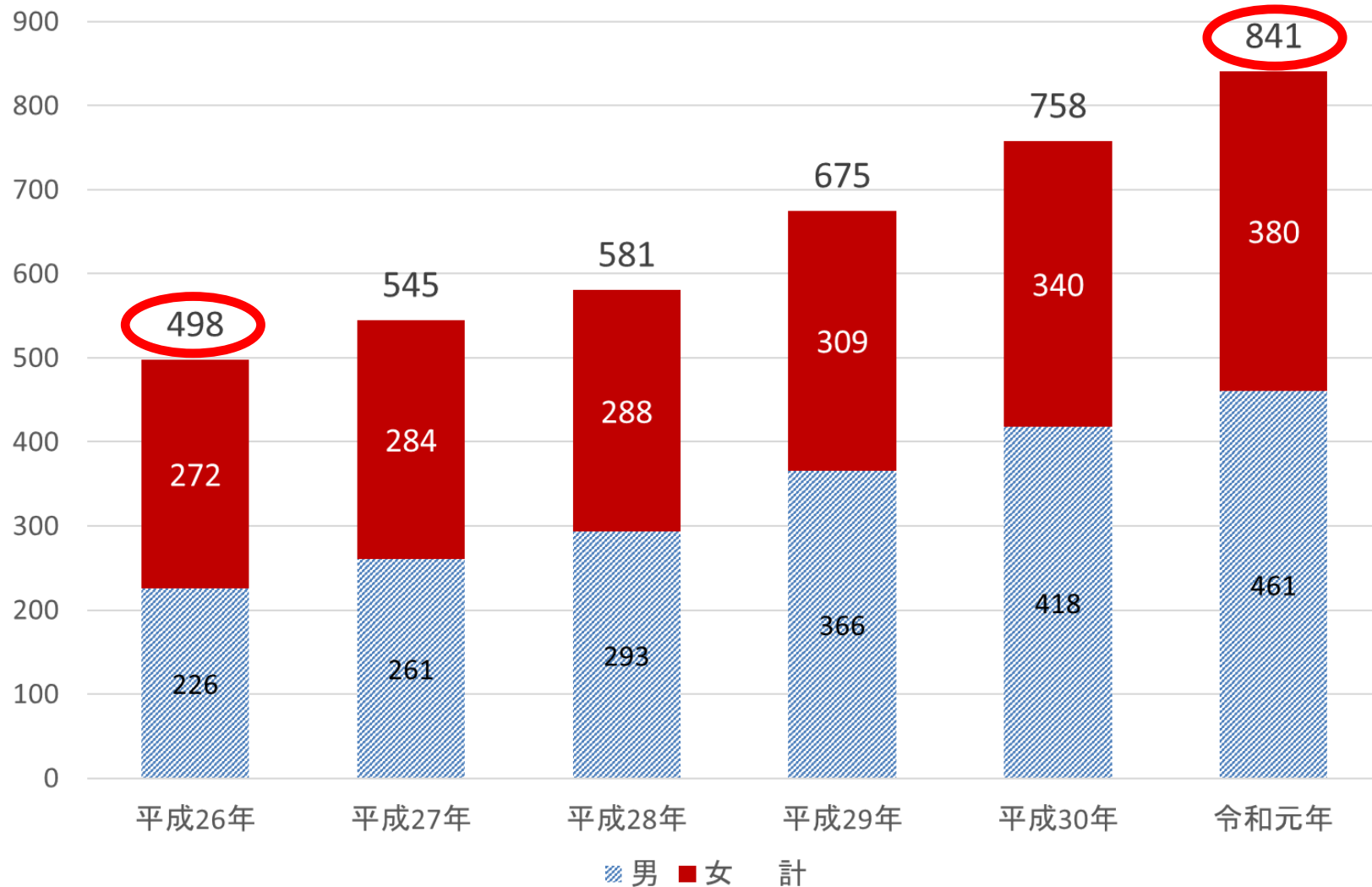


出典) 住民登録データから帯広市集計

帯広市の人口動向

外国人数

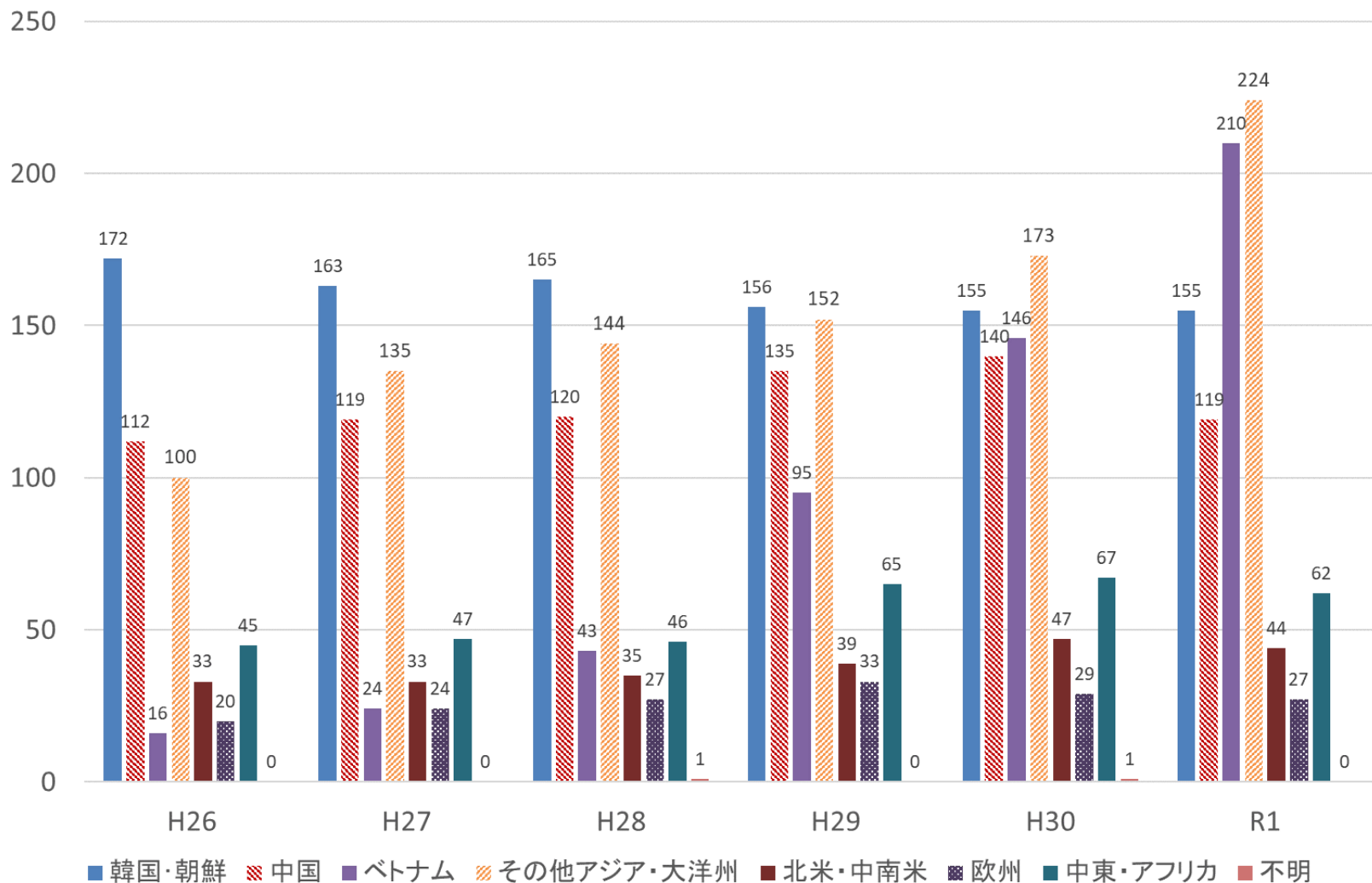
H26~R1の間で**343人増加 (+68.9%)**



帯広市の人口動向

国籍別外国人数

ベトナムなどアジア諸国が大幅に増加



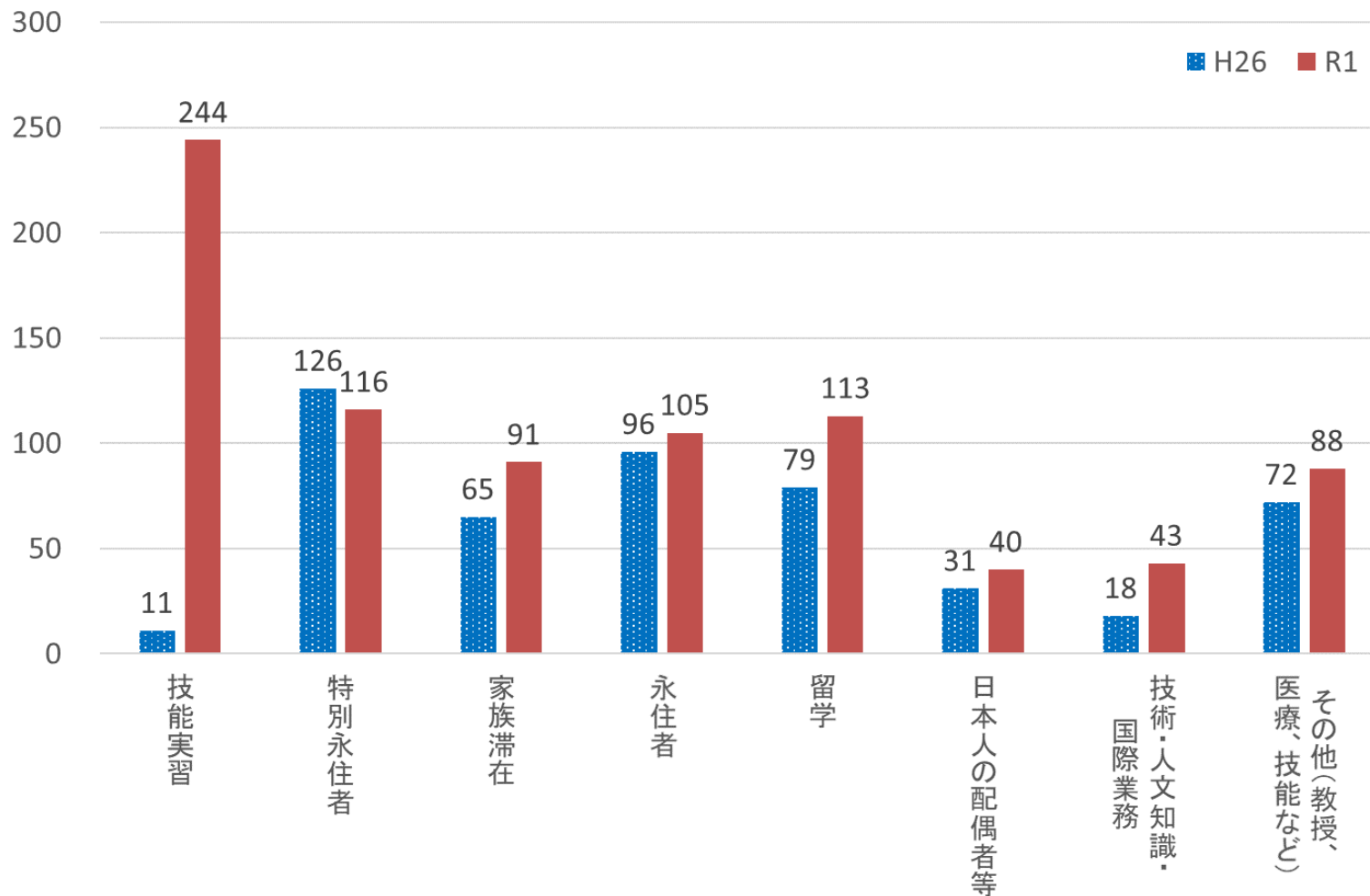
注) 外務省ホームページ掲載の地域区分による

出典) 住民基本台帳

帯広市の人口動向

在留資格別外国人人数

技能実習が大幅に増加

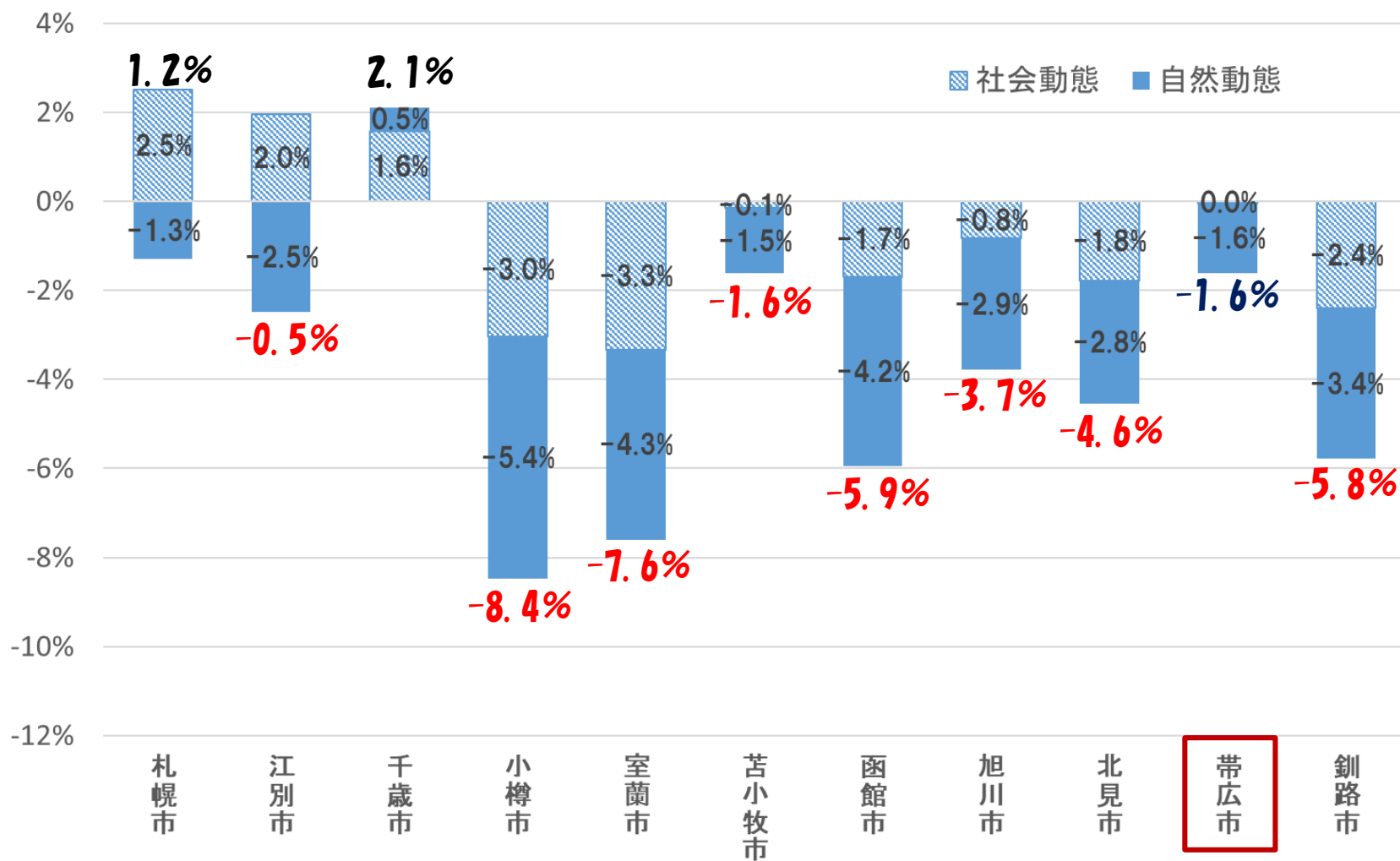


注) H24の「技術・人文知識・国際業務」は「技術」及び「人文知識・国際業務」の合計 出典) 住民基本台帳

帯広市の人口動向

道内主要都市比較

帯広市の増減率は**道内4位**（H26-R1）

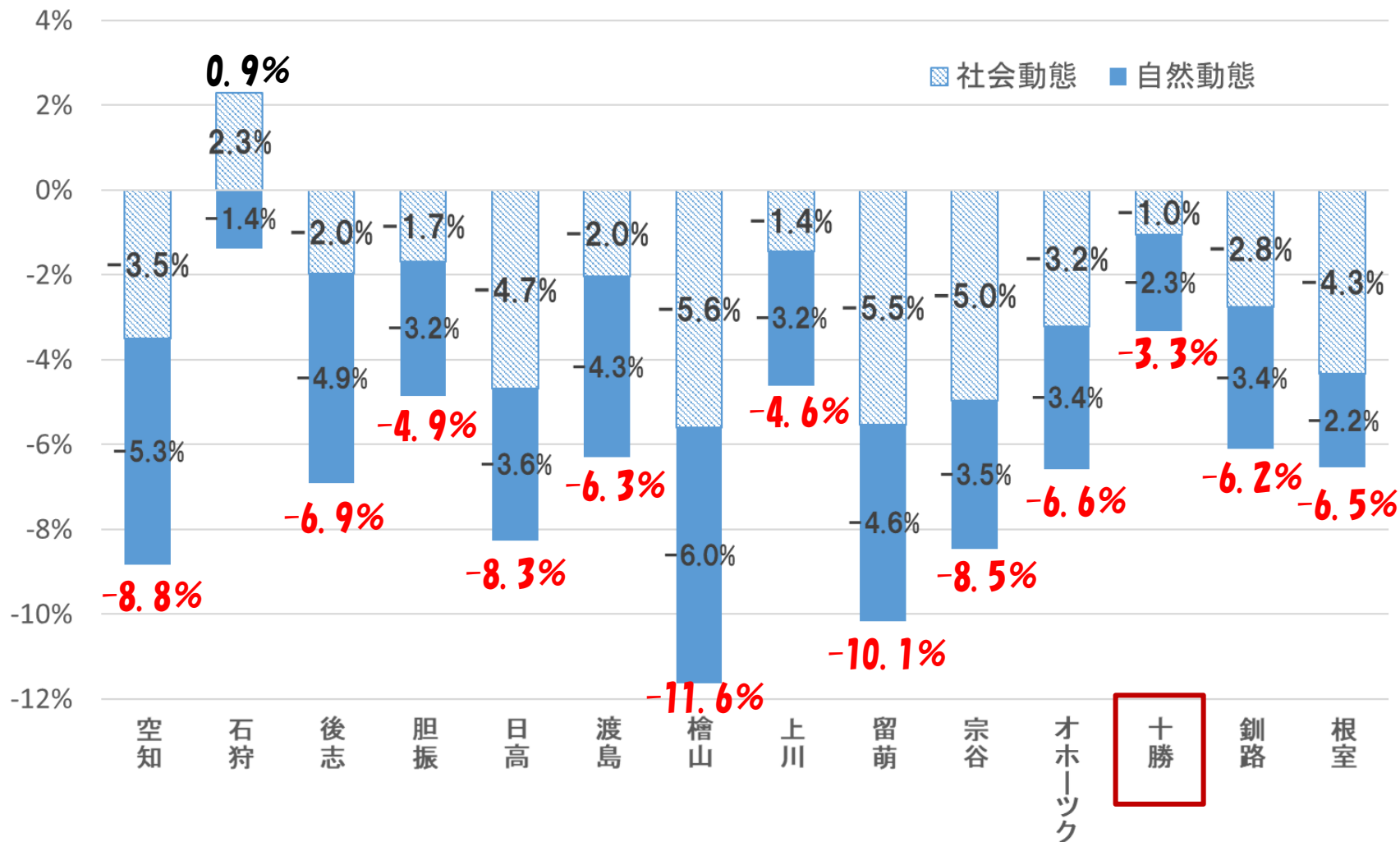


注) 社会動態は転出入差と職権による増減の合計、各年12月末日現在の比較
出典) 振興局市区町村別人口、人口動態及び世帯数（北海道地域振興局）

十勝の人口動向

道内振興局比較

十勝の減少率は増加した石狩を除き**道内最小**
(H26-R1)



注) 社会動態は転出入差と職権による増減の合計、各年12月末日現在の比較
出典) 振興局市区町村別人口、人口動態及び世帯数(北海道地域振興局)

第1期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略 指標一覧表

資料2

基本目標	指標	単位	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	達成有無	達成状況に対する分析	
			目標値	H27進捗率	H28進捗率	H29進捗率	H30進捗率	R1進捗率			
1 新たな「しごと」を創り出す	数値目標										
	十勝管内農畜産物の輸出額	億円	12.1	14.2	18.2	14.0	16.0	12.8	不達成	国際戦略総合特区の支援制度を活用し、輸出関連施設の整備充実が図られたことや、関係団体による販路拡大等の取り組みなどにより、計画期間を通じて基準値を上回る額で推移しているものの、令和元年度については、天候不順などの影響で、輸出額の大部分を占める長いもの収量が低迷したことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。	
			17.0	42.9%	124.5%	38.8%	79.6%	14.3%			
	製造品出荷額（工業統計に基づく前年度の数値）	億円	1,280	1,379	—	1,535	1,718	1,664	達成	生産規模拡大に向け設備投資などを進めてきた電子部品・デバイス・電子回路製造業のほか、金属製品製造業の製造品出荷額等が大幅に増加し、目標を達成しました。	
			1,380	99.0%	—	255.0%	438.0%	384.0%			
	食料品製造業の従業者1人当たり付加価値額（工業統計に基づく前年度の数値）	万円	818	935	—	1,160	1,206	1,072	達成	食料品製造業において、従業者数は基準値対比で微増となっていますが、十勝・帯広の食・農業への関心や需要の高まりなどを背景として、付加価値額が増加し、目標を達成しました。	
			1,002	63.6%	—	185.9%	210.9%	138.0%			
	創業・起業件数（H27～累積）	件	34(参考値)	23	60	80	99	110	不達成	とがち・イノベーション・プログラム等の取り組みを通じ、創業・起業を志す人材のネットワーク化や新たな事業構想の創出が進み、会社設立に至るケースも出てきていますが、事業計画の具体化や資金調達などの課題を解決するには時間を要する案件が多いことが要因となり、目標を達成できませんでした。	
			250	9.2%	24.0%	32.0%	39.6%	44.0%			
	法人市民税（法人税割）の賦課法人数	社	2,185	2,160	2,274	2,377	2,464	2,498	達成	十勝管内の景況感の回復や災害復興による需要を背景に、建設業の賦課法人数の大幅な増加をはじめ、ほぼすべての業種で賦課法人数が増加し、目標を達成しました。	
			増加	減少	増加	増加	増加	増加			
	重要業績評価指標（KPI）										
	HACCP導入企業数（H25～累積）	件	5	9	12	13	13	16	達成	国によるHACCP制度化の動きに加え、市や関係機関が実施する研修やシステム構築・運用管理等への支援などにより食品安全管理に対する企業の意識の高まりにつながり、目標を達成しました。	
			15	40.0%	70.0%	80.0%	80.0%	110.0%			
原産地証明発行件数	件	237	467	476	443	408	140	不達成	貿易額は概ね横ばいで推移していますが、平成31年3月より、シンガポールの規制緩和に伴い、一部の商品で原産地証明が不要となったことが要因となり、証明の発行件数が減少し、目標を達成できませんでした。		
		400	141.1%	146.6%	126.4%	104.9%	0.0%				
海外展開に挑戦する企業数（H27～累積）	件	—	11	22	33	34	52	達成	関係機関と連携した商談会への参加等に対する継続的な支援などにより、企業の意欲向上につながり、目標を達成しました。		
		40	27.5%	55.0%	82.5%	85.0%	130.0%				
十勝産機能性素材を活用した新商品開発数（H27～累積）	商品	—	4	10	12	13	14	達成	大手食品メーカーや地元高校等において、大豆やビートなど地元農産品から抽出した機能性素材の活用による商品開発が進み、目標を達成しました。		
		13	30.8%	76.9%	92.3%	100.0%	107.7%				
バイオマス利用量（発電量）	MWh	34,358	49,280	50,103	58,204	68,502	69,058	不達成	平成30年度までに整備されたバイオガスプラントについては、順調に稼働し、発電量の増加につながっていますが、送電網の脆弱性が浮き彫りとなり、新たなプラント整備計画の事業見通しが立っていない案件が多いことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。		
		77,223	34.8%	36.7%	55.6%	79.7%	81.0%				
創業・起業支援数（H27～累積）	件	107(参考値)	96	220	314	435	552	不達成	とがち・イノベーション・プログラムの取り組み等により増加傾向にありますが、新事業アイデアや起業希望者の掘り起こしが十分ではないことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。		
		750	12.8%	29.3%	41.9%	58.0%	73.6%				

基本目標	指標	単位	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	達成有無	達成状況に対する分析	
			目標値	H27進捗率	H28進捗率	H29進捗率	H30進捗率	R1進捗率			
1 新たな「しごと」を創り出す	域外からの企業誘致件数（H27～累積）	件	—	1	1	2	2	2	達成	企業立地促進条例による支援制度の活用等により、新たな企業誘致につながり、目標を達成しました。	
			2	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
	学校給食における地元産加工品新規導入件数（H27～累積）	件	—	2	4	5	6	6	達成	地元の食品製造業者との連携により地元産農産物を使用した新たな加工品の開発が進み、目標を達成しました。	
			5	40.0%	80.0%	100.0%	120.0%	120.0%			
	帯広南商業高等学校の卒業生の管内就職希望者の就職率	%	100	100	100	100	100	100	達成	企業との緊密な連携に加え、就職希望の生徒に対する1年次からの効果的な進路指導により、生徒の地元就職に対する意識向上につながり、目標を達成しました。	
		100	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
	海外大学の調査・連携方策の協議数（H27～累積）	件	—	1	1	1	1	1	達成	地域の特性・優位性を活かし、まちづくりと連動させながら高等教育機関の整備や人材育成を進める方針のもと、地域で食・農分野に携わる事業者が、産業人育成に係る調査を目的として外部機関の海外視察プログラムに参加し、目標を達成しました。	
			1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
	人材育成事業参加者数（H27～累積）	人	—	79	178	262	373	467	達成	地域の事業者らが、ビジネススキルや新商品開発のノウハウ等を身に付けるため、「フードバレーとかち人材育成事業」など食や農業分野を中心とした産業人育成の取り組みに積極的に参加したほか、学生・若手社会人を対象とした起業家育成プログラムの内容を若年層のニーズをもとに毎年度見直してきたことなどにより、参加者数の増加につながり、目標を達成しました。	
			180	43.9%	98.9%	145.6%	207.2%	259.4%			
2 十勝・帯広への「ひと」の流れをつくる	数値目標										
	帯広市の観光入込み客数（延べ人数）	万人	258	270	248	270	293	282	達成	インバウンドの拡大や、十勝管外を含め10万人超が来場するとかちマルシェの開催、十勝・帯広を舞台としたテレビドラマ放送の影響などにより、計画期間を通じて増加傾向で推移し、目標を達成しました。	
			272	85.7%	0.0%	85.7%	250.0%	171.4%			
	とかち帯広空港の定期便利用乗降客数	万人	58.2	60.5	62.2	66.6	67.8	65.9	達成	令和元年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度より減少したものの、東京線のダブルトラック化による利便性の向上や機材の大型化のほか、観光入込み客数の増加などが要因となり、計画期間を通じて増加傾向で推移し、目標を達成しました。	
			63.1	46.9%	81.6%	171.4%	195.9%	157.1%			
	移住者数（H27～累積）	人	9(参考値)	31	56	85	99	117	不達成	移住イベントの開催や、移住情報メールの配信、移住関連サイトの充実などにより、計画期間を通じて移住者数は増加したものの、相談件数や移住体験利用者数が伸び悩んだことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。	
			120	25.8%	46.7%	70.8%	82.5%	97.5%			
	重要業績評価指標（KPI）										
	ふるさと教育実施小・中学校数	校	40	40	40	40	40	40	達成	計画期間を通じて、小学校における郷土体験学習や、中学校における自然体験学習を着実に推進し、目標を達成しました。	
			40	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
帯広南商業高等学校の生徒のボランティア参加率	%	100	100	100	100	100	100	達成	計画期間を通じて、全生徒が加入する部活動単位でのボランティア活動が継続的に実施され、定着してきていることにより、目標を達成しました。		
		100	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
支援先企業の離職率の低下率	%	—	▲1.1	▲0.2	5.0	2.3	▲6.6	達成	参加者のニーズを把握しながら、毎年度、研修内容の見直しを行ってきたことに加え、各事業所における離職防止に向けた取り組みが定着してきていることにより、離職率の低下につながり、目標を達成しました。		
		▲2	不達成	不達成	不達成	不達成	達成				
地元企業と学生による共同研究件数（H27～累積）	件	—	8	13	19	27	33	達成	帯広畜産大学と地元企業等との連携により、調査・研究活動などに学生が参加する機会が増加し、目標を達成しました。		
		8	100.0%	162.5%	237.5%	337.5%	412.5%				

基本目標	指標	単位	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	達成有無	達成状況に対する分析	
			目標値	H27進捗率	H28進捗率	H29進捗率	H30進捗率	R1進捗率			
2 十勝・帯広への「ひと」の流れをつくる	中心市街地活性化プロジェクト件数 (H27～累積)	件	—	28	49	58	59	60	達成	帯広畜産大学の学生を主体としたイベント、講演会がまちなかで開催され、学生と地域住民の交流が図られるなど、中心市街地の活性化に向けた取り組みが着実に進み、目標を達成しました。	
			50	56.0%	98.0%	116.0%	118.0%	120.0%			
	移住相談件数 (H27～累積)	件	155(参考値)	192	434	712	922	1,068	不達成	大都市圏で開催された移住促進イベントにおける相談やパンフレット等による情報発信により、平成29年度までは増加傾向にあったものの、直接相談しなくてもインターネット等で移住等に関する情報を簡単に入手できるようになってきていることや、UJターンを検討している若年層にターゲットを絞った取り組みに軸足を移したことが要因となり、目標を達成できませんでした。	
			1,500	12.8%	28.9%	47.5%	61.5%	71.2%			
	移住体験「ちょっと暮らし」延べ利用日数 (H27～累積)	日	283(参考値)	356	902	960	960	960	不達成	長期の利用があったことにより一時的に増加しましたが、UJターンを検討している若年層にターゲットを絞った取り組みに軸足を移す中で、仕事のある現役世代にとっては長期での利用が難しいことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。	
			2,000	17.8%	45.1%	48.0%	48.0%	48.0%			
	UJターン者の地元企業就職者数 (H27～累積)	人	—	5	16	33	45	55	達成	首都圏での移住関連イベント等の開催や、地域人材確保・マッチング事業（ジョブ・ジョブとかち）の人材登録会を東京で開催したことなどにより、UJターン希望者と地元企業とのマッチングが着実に進み、目標を達成しました。	
			25	20.0%	64.0%	132.0%	180.0%	220.0%			
	十勝管内宿泊客延べ数	万人	198.5	196.1	198.3	208.5	218.6	210.0	達成	管内市町村が連携した効果的な観光イベント・プロモーションに加え、十勝・帯広を舞台としたテレビドラマ放送により、十勝の認知度向上が図られ、道外からの観光入込み客数が大きく増加したことで、宿泊客延べ数の増加につながり、目標を達成しました。	
			増加	減少	増加	増加	減少	増加			
帯広市内で開催されるスポーツ国際・全国・北海道大会数	大会	47	44	58	72	78	59	達成	帯広の森運動施設を中心とした充実した施設環境や大会運営能力に対する高い評価などが、多くの大会の開催につながり、目標を達成しました。		
		50	0.0%	366.7%	833.3%	1033.3%	400.0%				
帯広市内合宿件数	件	214	222	227	216	154	139	不達成	宿舎施設である帯広の森研修センターと各競技会場のアクセスの良さや、全天候型のテニスコートなど、充実した施設環境等により、アイスホッケーやテニスなどの合宿数は増加しましたが、日本スケート連盟において、平成29年度以降ナショナルトレーニングセンターチームの有資格者を厳選していることに加え、令和元年9月に青森県八戸市に新しい屋内スピードスケート場がオープンしたことにより、スピードスケートの合宿数が減少したことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。		
		220	133.3%	216.7%	33.3%	0.0%	0.0%				
とかちむら産直市場売上金額	億円	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.3	不達成	観光入込み客数の増加を背景にし、売上金額や来場者数については微増傾向にありますが、競馬場利用者をはじめ地域住民向けの訴求力のある商品の不足や事業者の様々な取り組みの周知不足などが要因となり、目標を達成できませんでした。		
		2.2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
国際チャーター便運航数	便	22	52	28	22	6	4	不達成	新千歳空港の発着枠増加や訪日外国人旅行者の個人旅行の増加などにより、便数が減少し、目標を達成できませんでした。		
		70	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%				
全道外国人観光客宿泊延べ数の道東シェア	%	7.8	7.7	7.0	6.7	6.1	6.1	不達成	新千歳空港におけるLCCの増加や全国的に中国からのチャーター便が運航されなくなったことにより、中国への定期便を有する新千歳空港の国際線一極集中がさらに進んだことや、道央圏に比べ道東圏の認知度向上が不十分であるため、都市間の移動につながらなかったことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。		
		9.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
3 ての結婚・出産・子育ての希望をかなえる	数値目標										
	子育て応援事業所登録事業所数	事業所	223	233	255	269	305	310	達成	子育て応援事業所促進奨励金などの制度の普及に加え、企業の社会貢献の一環としての取り組みの広がりなどにより、登録事業所数が増加し、目標を達成しました。	
			300	13.0%	41.6%	59.7%	106.5%	113.0%			
この地域で今後も子育てをしたいと思う人の割合	%	—	92.4	92.4	92.2	92.3	91.9	不達成	高い水準を維持しているものの、調査対象の子どもの年齢が低いほど肯定的な回答の割合が低い傾向にあり、出産直後からのきめ細かな相談対応や地域全体での子育てを支える環境づくりの取り組みが、子育て世帯に十分に周知できていないことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。		
		93	不達成	不達成	不達成	不達成	不達成				

基本目標	指標	単位	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	達成有無	達成状況に対する分析	
			目標値	H27進捗率	H28進捗率	H29進捗率	H30進捗率	R1進捗率			
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	重要業績評価指標 (KPI)										
	審議会等への女性の参画率	%	32.5	33.0	32.3	31.6	32.5	32.5	不達成	公募枠や、学識経験者、関係団体からの選出において、女性委員の登用に努めたものの、専門分野において女性の適任者が少ないことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。	
			40.0	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	子育て応援事業所奨励金対象者数 (H27～累積)	人	—	60	101	150	196	238	達成	制度の周知等により、新規に制度を活用する事業所が着実に増加し、目標を達成しました。	
			214	28.0%	47.2%	70.1%	91.6%	111.2%			
	こども学校応援地域基金への寄附件数 (H27～累積)	件	—	0	11	182	336	412	達成	制度の周知に加え、平成29年度より、市外在住の個人からの寄付に対し返礼品を導入したことなどにより、件数が大幅に増加し、目標を達成しました。	
			40	0.0%	27.5%	455.0%	840.0%	1030.0%			
特定不妊治療費申請件数 (H27～累積)	件	—	122	257	397	519	729	達成	道東で唯一、高度生殖医療を提供する医院があることに加え、年齢制限を拡充した市独自の支援や制度の周知が進んだことにより、申請件数の増加につながり、目標を達成しました。		
		520	23.5%	49.4%	76.3%	99.8%	140.2%				
放課後子ども広場及び保育所等に登録されているボランティア数	人	473	541	567	562	542	558	達成	集客力のある地域のイベントや保育所に併設している支援センターなどでの周知等を通し、取り組みへの理解が進んだことなどにより、ボランティア数の増加につながり、目標を達成しました。		
		520	144.7%	200.0%	189.4%	146.8%	180.9%				
子育て世帯向け地域優良賃貸住宅供用開始戸数 (H27～累積)	戸	—	0	10	20	20	38	不達成	制度の周知や整備に対する支援に取り組んだものの、その時々々の景況感等により応募数を満たすことができなかった年があったほか、高齢者向け地域優良賃貸住宅の供用を優先した年があったことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。		
		50	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	76.0%				
不登校からの復帰率 (前年度実績)	%	24.0	34.4	28.6	28.7	29.4	26.8	不達成	家庭環境、友人関係などの様々な背景が複雑に絡み合い、課題解決が困難なケースが増加傾向にあることなどが要因となり、目標を達成できませんでした。		
		65.0	25.4%	11.2%	11.5%	13.2%	6.8%				
4 安全安心で快適なまちをつくる	数値目標										
	町内会加入率	%	64.1	63.6	63.2	62.1	61.4	60.5	不達成	少子高齢化の進行をはじめ、人々の価値観やライフスタイルの多様化等に伴う、地域のつながりや支え合い意識の低下などが要因となり、目標を達成できませんでした。	
			70.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	認知症サポーター数	人	8,937	10,993	13,107	15,108	16,471	17,716	不達成	町内会や企業等の各種団体への講師派遣、小中高生をはじめとする若い世代への講座実施などの幅広い取り組みにより、サポーター数は増加していますが、HPや広報紙による周知が新規受講団体の増加に必ずしもつながらなかったことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。	
		18,670	21.1%	42.8%	63.4%	77.4%	90.2%				
帯広市が住みやすいと思う人の割合 (当該年度の翌年度調査の結果)	%	86.8	84.5	83.0	82.0	81.1	—	不達成	恵まれた自然や気候の良さなどを背景に、住み心地が良いと感じている人が8割を超えている一方で、公共交通機関や商業施設が充実していないことなどの理由から若年世代を中心に肯定的な回答の割合が低下傾向にあり、高い水準を維持しているものの、目標を達成できませんでした。(令和元年度分は調査不実施)		
		上昇	下降	下降	下降	下降	—				
重要業績評価指標 (KPI)											
市民協働アクション登録団体数	団体	75	75	83	90	95	102	達成	任意団体等への周知により、市民の主体的な地域活動に少しずつ広がりが見えてきていることなどにより、登録団体数の増加につながり、目標を達成しました。		
		100	0.0%	32.0%	60.0%	80.0%	108.0%				

基本目標	指標	単位	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	達成有無	達成状況に対する分析
			目標値	H27進捗率	H28進捗率	H29進捗率	H30進捗率	R1進捗率		
4 安全安心で快適なまちをつくる	障害者雇用に関する研修会の参加事業所数（H27～累積）	事業所	27(参考値)	63	143	226	456	535	達成	NPO法人と連携・協力しながら、障害者雇用に関する研修会を実施したことに加え、障害者雇用促進法や障害者差別解消法の施行に伴う事業所の意識向上が図られてきていることなどにより、参加事業所数の増加につながり、目標を達成しました。
			300	21.0%	47.7%	75.3%	152.0%	178.3%		
	親子防災講座参加者数	人	1,888	3,340	3,531	4,635	5,846	3,716	達成	令和元年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、冬季の講座の開催を中止したことにより、前年度より減少したものの、メディアなどを通じた効果的な広報活動を行いながら、学校やPTA、庁内関係部署と協力し講座を開催してきたことにより、計画期間を通じて、参加者数が増加傾向で推移し、目標を達成しました。
			3,000	130.6%	147.8%	247.0%	355.9%	164.4%		
	自主防災組織の訓練実施率	%	84	81	89	96	89	96	不達成	災害の経験などを踏まえ、意識啓発などの取り組みを進めてきたことにより、実施率は着実に向上してきていますが、一部の自主防災組織においては、災害から時間が経過すると防災に対する意識が薄れ、継続的に訓練が実施されていないことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。
			100	0.0%	31.3%	75.0%	31.3%	75.0%		
	高齢者世帯向け地域優良賃貸住宅供用開始戸数（H27～累積）	戸	—	0	0	0	20	20	達成	制度の周知等により、制度を活用する事業者の掘り起こしにつながり、目標を達成しました。
			20	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%		
	介護関係職場への延べ就職者数	人	—	0	5	13	13	13	不達成	潜在介護士等復職支援研修会の実施により、子育て等により離職した有資格者の復職につながったケースがあったものの、研修を受講せず介護現場に直接復帰しているケースが多く、研修を通じた復職者数としては、目標を達成できませんでした。
			110	0.0%	4.5%	11.8%	11.8%	11.8%		
管内に就職した看護師の割合	%	—	92	91.4	84.9	85.7	85.7	不達成	高等看護学院卒業予定者は、管内市町村における看護師確保策などにより、卒業後ほとんどが管内で就職している一方、潜在看護師研修会受講者については、勤務条件の面で医療機関との調整がつかず、就職に結びついていないことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。	
		87	達成	達成	不達成	不達成	不達成			
空家等の棟数	棟	—	1,093	1,101	1,091	1,097	1,022	達成	ワンストップ相談体制の整備や改修・解体に係る支援など、空家等対策の取り組み等により空家の利活用や解体が進み、目標を達成しました。	
		減少	—	増加	減少	増加	減少			
街なか居住者数	人	2,790	2,790	2,769	2,740	2,666	2,558	不達成	第2期帯広市中心市街地活性化基本計画に位置付けている開広団地再整備事業が平成27年3月に完了し、開広団地地区では一定の人口増が見られるものの、中心市街地における居住空間としての魅力が十分でないことや、戸建て住宅の購入に伴う郊外への転居等により、若年世代の集合住宅居住者が減少傾向にあることなどが要因となり、目標を達成できませんでした。	
		3,668	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
歩行者通行量（平日）	人	23,173	24,912	22,966	25,068	24,235	23,035	不達成	「北の屋台事業」に加え、馬車BARなどの新たな取り組みにより「平日夜間の歩行者通行量」は増加傾向にあるものの、市民まちづくりアンケートでは「魅力ある店舗が少ない」との理由から中心市街地の魅力とにぎわいに関する実感度は低く、来街に結びついていないことや、街なか居住者数の減少などに伴い、「平日昼間の歩行者通行量」が減少傾向にあることが要因となり、目標を達成できませんでした。	
		24,000	210.3%	0.0%	229.1%	128.4%	0.0%			
十勝管内の観光入込み客数	万人	967	1,036	956	1,042	1,033	1,026	達成	管内市町村が連携した観光イベント・プロモーションに加え、十勝・帯広を舞台としたテレビドラマの放送により、十勝の認知度向上が図られ、道外からの観光入込み客数が増加し、目標を達成しました。	
		1,020	130.2%	0.0%	141.5%	124.5%	111.3%			
十勝管内バス利用者数	万人	457	457	453	466	459	451	不達成	バス事業者及び管内市町村等による利用促進の継続的な取り組みなどにより、一時的に増加したものの、平成30年度については、北海道胆振東部地震による連休や冬期間の降雪量が少なかったことなどが影響したほか、令和元年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により3月期の利用者数が大幅に落ち込んだことなどが要因となり、目標を達成できませんでした。	
		462	0.0%	0.0%	180.0%	40.0%	0.0%			